



塾業界の総合情報紙

塾新聞に連続掲載!

学習塾の総合情報紙「塾新聞」において、誉田進学塾の記事が2回連続で掲載されました!

連載「見学したい塾」では、第1弾として誉田進学塾が選ばれ、生徒の本質的な学力を高める独自のメソッドについて紹介。そして翌号では、森山先生が代表として参加した座談会の様子が特集記事として掲載されました。

誉田進学塾の掲げる「真の意味での英才教育」に塾業界からも多くの注目が集まっています!



誉田進学塾は、こうした科学的なメソッドを、社員の成長に向けても構築しようとしている。

「真の意味での英才教育」を実践
 誉田進学塾は、千葉市緑区を拠点に展開する唯閑中学・高校・大学受験専門の進学塾。創業は一九七八年である。屈指の進学実績を誇る塾として、地元で信頼を築き上げてきた。毎年、千葉県公立高校の入試当日に千葉テレビで生放送される入試問題解説番組を担当。週刊誌「読売ウィークリー」の「公立高校合格ランキング」三年連続首都圏第一位にも輝いた。現在、九拠点一

心の状態を変化させる法則を研究
 誉田進学塾は、本質的な創造力と才能を育てて伸ばす方法論を日頃から研究・実践している。脳科学や心理学を応用した教育だ。「たとえば、脳科学によると行動が達成されて初めて、ドーパミンが脳に快感を与えるそうです。この観点から、子どものや

一校舎を抱え、五〇名の社員を抱える。「子どもたちの知的好奇心を刺激して学ぶ意欲を高め、力を伸ばしたい。そう思ったことが、当塾の出発点でした。私たちはこの教育を「真の意味での英才教育」と呼んでいます。もつとつめざすが、「人間力の育成」です。日々の地道な学習を通して、未来を切り拓いていく力を養いたい」と考えています(浦水代表)

「子どもたちの知的好奇心を刺激して学ぶ意欲を高め、力を伸ばしたい。そう思ったことが、当塾の出発点でした。私たちはこの教育を「真の意味での英才教育」と呼んでいます。もつとつめざすが、「人間力の育成」です。日々の地道な学習を通して、未来を切り拓いていく力を養いたい」と考えています(浦水代表)

「すぐに見学したい塾」
 千葉 誉田進学塾 (柳)ジャスマック
 地道な学習を通して、未来を切り拓く力を

国際化は教育業界のチャンス
 神田 今後、人間力の育成など、塾や予備校に対する期待は高まっていくと思います。日本の未来を育てていく子どもを育てていくこと、そのぶん、仕事のやりがいは増していくでしょう。
 芳村 東京オリンピックの開催に向けて、日本の国際化は今まで以上に進むのではないのでしょうか。英語力は当然ですが「知識の詰め込み型教育」からPISA型の科学的なメソッドを、社員の成長に向けても構築しようとしている。

「先生と出会えてよかった」の一言に感動
 芳村 自由が丘駅前校の教室長として、主に幼稚園児から中学生までを指導しています。仕事のやりがいは、子どもたちの人生に関わる重要な役目を担っていること。「先生と出会ってよかった」と言われて涙がこぼれるのに必死です。
 神田 中受験指導部の啓明寺小石川校で、小学生に国語と社会を指導しています。子どもだった生徒が卒業後に顔をみせに来て、成長した姿を見ることができると嬉しく感じます。
 大久保 慶応予備校の横浜校で、進学アドバイザーとして働いています。

「思考力」を養成する本物の教育が、教育業界にますます求められてくると思います。これは私にとって絶対のビジネスチャンスです。塾や予備校は、時代の動きに学校よりも迅速かつ柔軟に対応できるからです。

森山 デジタル機器の普及もあり、子どもたちの様子も変わってきています。地域のニーズにもそれぞれ特性があります。塾や予備校が調査や研究を重ね、現状に合わせたシステムやサービスを提供していく必要性がさらに生じていくでしょう。
 武田 英語以外の教科でもコミュニケーション能力が求められるかと思えます。国語や数学の勉強も、人の考えを十分に理解した上で、自分の考えを伝えていくことにつながるはず。学べば学ぶほど、人々が求める時代が来たら素晴らしいです。

注目される塾・予備校五社の社員による座談会
 座談会のテーマは「教育業界で働く魅力と教育の未来」。参加者はeis U-Groupの芳村俊明さん、さなるの神田俊和さん、城南進学塾研究社の大久保力さん、誉田進学塾の森山忍さん、中高学院の武田由比子さん。



写真右から、さなるの神田俊和さん(34歳)、eis groupの芳村俊明さん(41歳)、中高学院の武田由比子さん(25歳)、誉田進学塾の森山忍さん(29歳)、城南進学塾研究社の大久保力さん(29歳)。※取材時の年齢